元禄文化

文学	浮世草子	「好色一代男」「日本永代蔵」「世間胸算用」「武家義理物語」など（井原西鶴）
	俳諧（俳句）	「奥の細道」など（松尾芭蕉）
	脚本	「曽根崎心中」「国姓爺合戦」など（近松門左衛門）
芸能	人形浄瑠璃	義太夫節（竹本義太夫）
	歌舞伎	上方の坂田藤十郎，江戸の市川団十郎
絵画	装飾画	「燕子花図屏風」「紅白梅図屏風」など（尾形光琳）
	浮世絵	「見返り美人図」など（菱川師宣）
工芸	友禅染（宮崎友禅），京焼（野々村仁清）など	
学問	朱子学（林羅山ら林家，新井白石など） 陽明学（中江藤樹など） 歴史学（徳川光圀「大日本史」） 天文学（渋川春海「貞享暦」） 農学（宮崎安貞「農業全書」） 和算（関孝和「発微算法」）	
生活	年中行事（正月・節分・ひな祭り・七夕・盆踊り・月見など）， 菜種油を利用した行灯の使用が広がる	

ポイント１　背景と特徴

＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

① 背景

幕藩体制下における

社会の安定・商業の発達・都市の繁栄など

② 特徴

17世紀末～18世紀初めの5代将軍徳川綱吉のころ，

上方（京都・大阪）の富裕な町人を中心に栄えた文化

ポイント2　文学・学問

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

① 文学

浮世草子：現世（浮き世）を生きる人間のありのままの姿を描く

井原西鶴「好色一代男」「日本永代蔵」「世間胸算用」「武家義理物語」など

俳諧（俳句）：連歌（れんが）の発句（ほっく）の五・七・五部分を独立させたもの

松尾芭蕉「奥の細道」など

脚本：**近松門左衛門**「曽根崎心中」「国姓爺合戦」など

② 学問

中国の学問である**儒**（じゅ）学（がく）の発展がさまざまな学問の発展につながる

朱子学：林羅山ら林家，新井白石など（幕府に保護され主流となる）

陽明学：中江藤樹など（「知行合一（ちこうごういつ）」を唱え幕府に警戒される）

歴史学：徳川光圀（水戸藩主）「**大日本史**」の編纂開始

天文学：渋川春海「貞享暦」

農学：宮崎安貞「農業全書」

和算：関孝和　「発微算法」

ポイント3　芸能・絵画・工芸・生活

＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

① 芸能

資料2 人形浄瑠璃（現代の文楽）

人形浄瑠璃：浄瑠璃に合わせ人形を操る芸能
竹本義太夫の義太夫節が流行
現在の文楽につながる。

歌舞伎：上方の坂田藤十郎（和事），江戸の市川団十郎（荒事）などの名優が登場し，常設の芝居小屋もできる

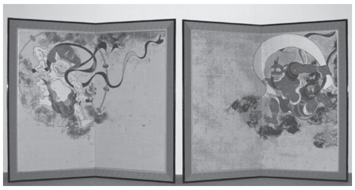
近松門左衛門が人形浄瑠璃や歌舞伎の脚本を書く

② 絵画

装飾画：俵屋宗達（たわらやそうたつ）「風神雷神図屏風（ふうじんらいじんずびょうぶ）」（江戸時代前期）
尾形光琳「燕子花図屏風」
「紅白梅図屏風」（琳派（りんぱ）を創始）

浮世絵：**菱川師宣**「見返り美人図」（肉筆画）など

資料3 俵屋宗達「風神雷神図屏風」



資料4 尾形光琳「燕子花図屏風」

資料5 菱川師宣「見返り美人図」

③ 工芸

友禅染（宮崎友禅），京焼（野々村仁清）など

江戸時代前期には京都で本阿弥光悦（ほんあみこうえつ），肥前国有田で酒井田柿右衛門（さかいだかきえもん）が活躍

④ 生活

年中行事（正月・節分・ひな祭り・七夕・盆踊り・月見など），

菜種油を利用した行灯（あんどん）の使用が広がる

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 17世紀末～18世紀初めにかけて，上方（大阪・京都）の富裕な町人を中心に栄えた文化を何というか。　＿＿＿＿＿＿　元禄文化

(2) 「日本永代蔵」などの浮世草子を書いた人物は誰か。　＿＿＿＿＿＿　井原西鶴

(3) 「曽根崎心中」など，人形浄瑠璃の脚本を書いた人物はだれか。　＿＿＿＿＿＿　近松門左衛門

(4) 「風神雷神図屛風」など，華やかな装飾画を描いた人物は誰か。　＿＿＿＿＿＿　俵屋宗達